

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 桐山晃忠 幹 事 飯田隆明 会報委員長 梅原正美



ロータリーを実践し、 みんなに豊かな人生を

2013年～2014年度国際ロータリー会長
ロン D・パートン

第1378回例会 2014年2月20日(木)(晴)

司 会 諸星道治副幹事

点 鐘 桐山晃忠会長

合 唱 「それこそロータリー」(東島礼美さん)

ビジター紹介 瀬戸北支君(小田原北)

祝誕生記念日 《会員》 兒玉君(2/4) 三留君(2/2
1) 神崎君(2/24)

第三回米山功労者 大津俊彦君 河野治男君

山口光弘君

第四回米山功労者 神崎達朗君 菊池文男君

第八回米山功労者 原 郁夫君

会長の時間

- 昨日(南中学校)、本日(本町小学校)と、「命の授業」を開催いたしました。出席された会員の皆様、寒い中ご苦勞様でした。質問の程度の高さに驚きました。生徒達も一生懸命聞いているなど感じました。
- 会長エレクト・古谷スミ子さんが、東海大学病院において入院・手術をすることになりました(脳動脈瘤)。3月初めに入院日が決まると思います。これに伴い、アルタナ・ゴウさん(交換学生)のホストファミリーを伊藤彩夜加さん宅にお願い致しました。2/22に引越をし、4/24の帰国までの間、宜しくお願い致します。
- 次年度の地区委員会委員の委嘱状が届いた方は事務局までお知らせください。

幹事報告

[受付文書]

- 第31回 秦野桜まつりへの協賛について
開 催 日 3/29(土)・30(日)
メイン会場 中央運動公園 第2会場・弘法山公園
- 米山記念奨学会より 「ハイライトよねやま167」
- 米山功労者表彰
第一回米山功労者 兒玉秀夫君 瀬戸 誠君

会員数	43名
出席数	33名
出席率	76.74%
前々回の修正	75.00%

メークアップ	[事前] 伊藤さん(地区)
--------	---------------



○ インターアクト通信2月号

[例会変更] 寒川 秦野

[本日の配布物] 「2012-13 年度IM記録誌」 「IMちらし各10部」 「IMちらし配布先リスト」 「新会員歓迎会会計報告」

スマイル報告

- 瀬戸北支君(小田原北) 「お世話になります」
- 桐山晃忠君 「本町中学校での“命の授業”に出席。とても寒く、今も凍りついてしまっているようです。スマイルします」
- 古谷スミ子さん 「腰塚さんの命の授業、すばらしかつ

本日のプログラム	2月27日 ○ クラブフォーラム (IMに向けて)
----------	---------------------------------

次週のプログラム	3月6日 ○ 卓話 中島君 ○ 理事会
----------	---------------------------

たです。聞く生徒の態度もすばらしかったです」

- 木村眞澄さん 「腰塚先生の命の授業を、午前10時～1時間40分、本町中学校に聞きに行ってきました。大盛況でした。寒かったです」
- 諸星道治君 「もうすぐ(ピンクレディ)春ですね。スマイルします」
- 三留文雄君 「誕生日ありがとうございます」
- 神崎達朗君 「誕生日のお祝いありがとうございます。ようやく大台になりました」
- 兒玉秀夫君 「誕生日ありがとうございます」
- 原 郁夫君 「病院の検査から例会へまわったのでネクタイを忘れました」
- 西村隆之君 「スマイルします」
- 鈴木和夫君 「スマイルします」

合計 41,150 円

委員会報告

- 親睦活動委員会 加藤一也委員長
「新会員歓迎会」(2/6(土))会計報告
収入 会費、祝儀 105,000 円
支出 やなぎ家本店支払い 95,490 円
残高 9,510 円
※残高 9,510 円はスマイルへ。
やなぎ家よりビールをサービスして頂きました。
- 青少年奉仕委員会 大津俊彦委員長
「命の授業」腰塚勇人先生の講演会が終わりました。
2/19(水) (南中学校)
2/20(木) (本町中学校)
盛大で生徒の聞く態度も素晴らしく、感心致しました。
腰塚先生より、秦野名水RCを紹介して頂き、広報の一役も出来たと思います。



(2/19 南中学校)



(1/16 北中学校)



(2/20 本町中学校)

- ゴルフ同好会 諸星道治君
「106回ゴルフコンペ」開催のお知らせ
日程 4/9(水)
場所 東京カントリークラブ
※ゴルフ終了後、懇親会を開催するか検討中です。
- IM実行委員会 大屋富茂委員長
① リーフレット ② チラシ(各人10枚)
を配布致しました。
また、ポスター、チラシ配布先リスト表を配布致しました。秦野文化会館大ホール1,500名の入場者を集めるために家族、知人、近所の方にお声かけ頂き、一人でも多くの方の参加がある様にご協力よろしくお願い致します。

卓話

「秦野市少年野球連盟」

今井茂文君



長年にわたり、秦野名水RCで支援して頂いています「秦

野少年野球連盟」の理事長として、少年野球を皆様に知ってもらい、これからも引き続き支援して頂くためにもお話をさせていただきます。まず、秦野市で初めて少年野球チームが出来たのは1975年(S50年)に下大槻団地の子供たちで結成された「リトルファイターズ」でした。その後、本町地区に「コメッツ」、西地区では「ポパイズ」「キングタイガース」といったチームがつくられました。その後、大根地区に1チーム「ひまわり」、南地区に1チーム「南ジャガーズ」、西地区に3チーム「ベッカーズ」「スプラウト」「リトルジャイアンツ」と、2～3年で9チームが結成されました。それまでは秦野市には少年野球チームをまとめる組織はなく、市内の9チームがそれぞれに試合の相手を探して練習試合をしていました。その当時は小田原市の少年野球チームを中心に足柄上郡、下郡、二宮市、大磯町、平塚市の一部で構成されていた「西湘地区少年野球同盟」に加入して対外試合を行っていましたが、チームが増えたことで秦野市にもまとめる組織を作ろうという機運が高まり、9チームの監督が集まり、1978年(S53年)8月に「秦野市少年野球連盟」が結成されました。

その年度には9チームの他に、大根地区に1チーム「ワールドメイツ」、北地区に1チーム「モンキーズ」、東地区に2チーム「ビッグベアーズ」「東ジャガーズ」、南地区に2チーム「ビッキーズ」「ドッグスターズ」、西地区に3チーム「渋沢スポーツ少年団」「アストロ」「サンダース」、上地区に1チーム「上ファイターズ」と新たに10チームが出来、連盟に加入し、翌年1979年(S54年)の春季大会開会式には19チームが参加しました。

その後、南が丘小学校、鶴巻小学校、末広小学校、堀川小学校が新設され、学区にあたらしいチームができ、児童数も急激に増えていき、児童数は1982年(S57年)がピークだそうです。特に渋沢小学校は県下有数のマンモス校だったそうです。

当時は子どもたちのスポーツや遊ぶ種目が少なかったこともあるでしょうが、子供達はまず野球、となるでしょう、その時にもサッカークラブもありましたが、子供たちが集まらず、指導者は大変苦勞をしたそうです。それがJリーグが発足したとたんサッカーブームに火をつけて今では逆転されてしまいました。

秦野市に初めて少年野球チームができてから10年目を迎えた1985年の時が最盛期で、中井町のチームも加わり、チーム数が27チームになっていました。選手数も1,000人を超えていました。今思うと夢のようです。

現在、連盟加入は東地区1チーム、西地区5チーム、南地区4チーム、北地区2チーム、大根鶴巻地区2チーム、本町地区1チームの15チームで、先週は382名です。そのうち、女子児童が30名在籍しています。年々少女の入部が多くなっています

また、昨年から少女だけの野球大会で関東大会と全国大会が開催されたことも、入部者が増えている事の要因だと思います。今年から神奈川大会が5月に開催される予定です。

また、指導者の登録は約260名です。指導者の約半数の124名は神奈川県野球協会の公式審判員ですので、少年野球はもちろん、中学生の大会にも13年前から携わっています。

少子高齢化が進む時代ですが、秦野市も人口減少が極端に進んでいるとは思いませんが、今年13日の読売新聞の記事で「過疎地域の認定は2005年までの45年間の人口減少率が33%以上」とのことです。北海道では函館市、富良野市、千葉県勝浦市など35市町村が今年新たに過疎地認定されるようです。今年度内に成立すれば4月からは過疎地域の市町村は616市町村となり、全市町村に占める割合は36%となるようです。今回初めて大阪府で一つの村が含まれ、過疎地域のない都道府県は神奈川と滋賀の2県だけになるそうです。

わが町秦野市は20万都市を目指していると聞いていますが、市の人口が17万人になったとたんには穏やかですが人口減少が続いています。先週の諸星さんの卓話は高齢化社会のお話しでしたが、私たちは少子化の影響で子どもたちのスポーツへの参加の減少が心配の種です。

話は変わりますが、名水RCと少年野球のかかわりを申し上げますと、1993年岡部会長の時に青少年の健全育成の理解を得られ、初めて援助金として卒業大会の開会式に来て頂き、援助金を頂いた事が最小でした。

その後、翌々年1996年菊池会長の時、青少年奉仕委員会で青少年育成援助金として認めて頂き、秋季大会の開会式に会長自ら来て頂きました。その後、1998年クラブ創立10周年の村山会長の時に式典に呼んで頂き、援助金を贈呈して頂き、翌年1999年岡野会長の時に11月3日の市民の日に始まる卒業記念大会を後援して頂くことになり、今に至っています。

この間、2000年の高橋場会長には連盟のシンボルとなる素晴らしい連盟旗を作って頂き、卒業記念大会の開会式に贈呈して頂きました。その後今までに14年間大事に使わせて頂いている卒業大会の優勝旗を寄贈して頂きました。

入部促進にはお母さんの力が絶対に必要、と2005年から始めました親子ふれあいトスボール大会には毎年名水RCの皆様には参加をして頂き、3年生以下のお孫さんのような子供達と真剣試合で一日楽しんでもらっています。

最近では協力する事がなくなりましたが、以前はゴミ0運動には何度か参加していた事もありました。今年は皆様のご支援の下、「春季大会はJcom」さん、「夏季大会は中栄信用金庫」さん、「秋季大会はマクドナルド」さん、「新人戦大会はタウンニュース」さん、「卒業記念大会と5月5日、11月3日の親子ふれあいトスボール大会は秦野名水RC」と、全ての大会に後援団体と企業で支援を頂くことが出来た事は役員一同感謝に堪えません。

昨年の12月1日に開催されました「第9回はだの丹沢みなせマラソン」ですが、ランナーの給水所には第1回目から子どもたちが給水の手伝いをしています。4,000人弱のランナーには非常に評判が良いようです。3月15日のIMの山下泰裕氏の講演会には子どもたちの動員を大屋実行委員長に久々に依頼されたので、平素お世話になっている秦野名水RCです、何があっても各チーム、文化会館にユニフォームで集合するようにお願いしてあります。が、この時期、各チームの卒団式、卒業式が計画されていますので、御承知下さい。

最後に会員のお子様やお孫さんには是非、野球をさせてマーくんのような子供に育てましょう。一生楽出来ます。…?